

青葉支部長 朝日 豊彦 (S57 年卒)

青葉区は、横浜市の北部に位置します。平成 6 年 11 月 6 日に誕生し今年で 23 年目となります。横浜市には、以前広大な面積を占める港北区がありました。昭和 44 年に港北区が分区し緑区が誕生しました。その緑区もかなりの面積でしたが、平成 6 年に緑区がさらに分区し青葉区が誕生しました。

青葉区域は、鶴見川の上流に位置し、かつては自然が広がり緑の多い農業中心の田園地帯でした。その後、昭和 41 年に東急田園都市線が、溝ノ口～長津田間に開通したのをきっかけに都市化が進みました。東京近郊であるという位置が、横浜でありながら「東京都緑区」や「第 2 の東京」とも呼ばれました。まさに東京の人口増を受け入れるかのように発展を遂げてきました。

この発展の過程では、ドラマ等の撮影にもよく使われました。私の子供の頃では、「ウルトラマン」「仮面ライダー」。大人になってからは、「金曜日の妻たち」「私鉄沿線九七分署」といったところでしょうか。開発が進む中、造成中の土地であったり新しい住宅地などが、ロケにぴったりだったのでしょう。

現在人口は、310,518 人 (H29.2.1 現在) 横浜では、港北区に次いで 2 番目の多さです。人口は、増えましたが街並みも整備された緑が多いところであり「住み続けたい青葉区」となってい

ます。また、青葉区は、男性の平均寿命が全国一になったこともある長寿の区として知られています。(その後もベスト 10 には、入っているはずです。) 青葉区には、小学校が 31 校、中学校が 12 校あります。そしてそこに学ぶ児童・生徒数は、2 万人を超えます。学校数が多いこともあり、校長会なども充実しています。友松会会員は、校内会員 88 名、校外会員 41 名となっています。横浜国大卒も多いはずなのですが、なかなか青葉支部総会などは、開けていません。管理職間は、懇親を深める機会もあるのですが、校外会員や若手の会員とは、なかなか交流の場が設けられず、通信によるやりとりが主となっています。

青葉区は、大学などの教育機関が多い地域で、大学生は、小中学校に教育実習だけでなくインターシップやボランティアなどとして積極的に入ってきています。国大もと思うのですが、立地条件からなかなか連携が進みにくいのが現状です。教育学部ができることを機に青葉区の会員が増えてくれることを願っています。今後は、他の支部の情報を得ながら進めていきたいと思っています。